

国道2号歌島橋交差点の歌島橋地下横断歩道 期 (西淀川区役所側)が、8月9日(火)午後2時から利用を開始します。

利用区間は歌島橋交差点北側で、車いすの方や高齢者の方も、エレベーターを利用して安全に通行できます。

地下横断歩道は、西淀川区役所、JR東西線御幣島駅の通路とも連絡しており、また、防犯ベル、カメラ、太陽光発電など安全で環境に配慮した設備を備えるとともに、地下広場には50インチモニターを設置し、JR・バスの時刻表や天気予報など生活に役立つ情報を提供します。

1. 事業の目的

歌島橋交差点は、一般国道2号と府道(大阪池田線)・市道(淀川北岸線)の3路線が交差する五差路となっており、大阪でも主要渋滞ポイントのひとつにあげられ、そのような状況の中多くの交通事故が発生しており、また、交通円滑化による沿道環境の改善・対策が求められていました。

本事業は、地下横断歩道を整備し、次の目的を達成するために着手されました。

- (1) 交差点部での渋滞緩和
- (2) 歩行者、自転車の安全確保
- (3) 沿道環境の改善とより快適な生活環境の改善

2. 期工事の概要

場所	: 大阪市西淀川区 国道2号 歌島橋交差点北側部(西淀川区役所側)
着手年度	: 平成10年度
施設	: 出入り口6箇所(階段2箇所、斜路付き階段2箇所、エレベーター2箇所) 地下広場 約450m ²
利用開始日時	: 平成17年8月9日14時

3. 期利用開始について

地下横断歩道は、JR 東西線御幣島駅、西淀川区役所及び大阪市の御幣島駅自転車駐車場とも連絡しています。

出入口は、階段、斜路付階段、エレベーターを設置しており、歩行者・自転車・車いすが地下を歩いて安全に横断できます。

出入口及び地下広場に会話付防犯ベル、カメラを設置し、安全対策を行っています。

地下広場には、50インチモニターを設置し、JR・バスの時刻表や天気予報など生活に役立つ情報を提供します。

出入口部に太陽発電パネルを設置し、地下の照明施設の電力として利用し、環境に配慮しています。

4. II 期工事について

I 期工事に引き続き、交差点南側の地下横断歩道出入口と地下通路を整備します。

地下横断歩道出入口 : 階段2箇所、斜路付き階段2箇所、エレベーター2箇所

地下横断通路 : 140m

工事期間(予定) : 平成17年10月～平成20年3月

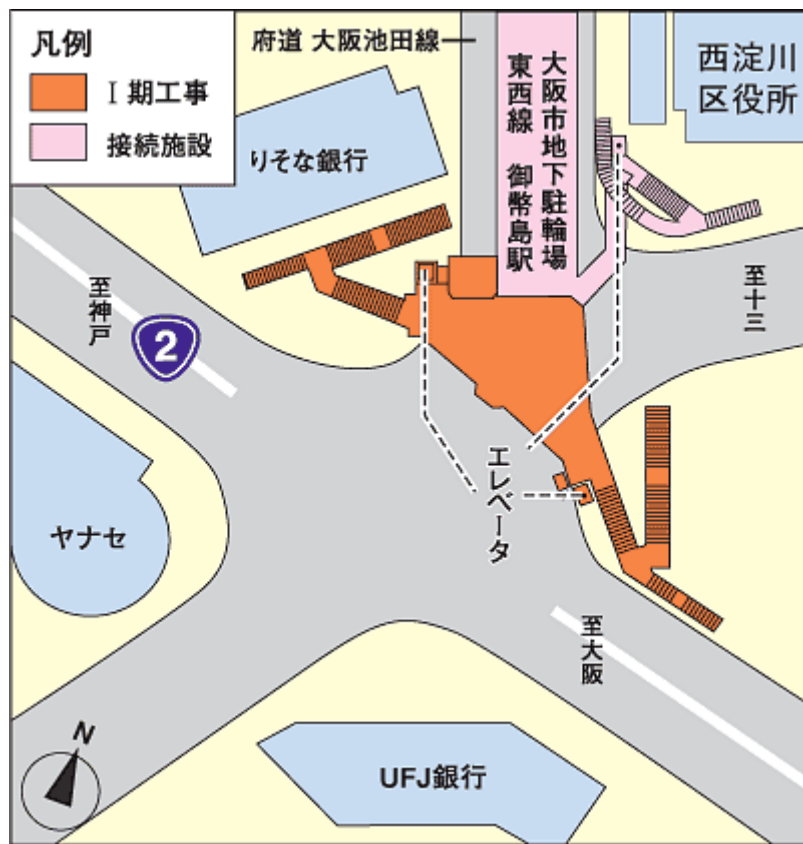
参考

期利用開始について

【利用区間】

歌島橋交差点北側部(西淀川区役所側)で、階段、斜路付階段、エレベーターを利用して通行出来ます。

【位置図】



【施設概要】

(1)通路、広場



地下広場



地下広場

(2)斜路付階段

歩行者と自転車が利用できます。

自転車用のスロープ部は、レールによる上下分離と進行方向の表示を行っています。



斜路付階段(3号、4号出口)

(3)エレベーター

エレベーターの内寸法は、幅 1.4m、奥行き 2.0m、高さ 2.3m で、定員は18人です。

車いす、自転車が利用しやすいように入入り2方向式になっています。



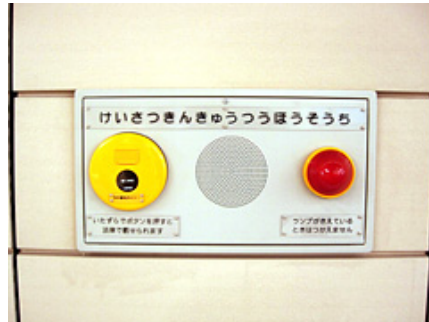
エレベーター(3号、4号出口側)

(4)防犯施設

1)会話機能付き防犯ベル

地下広場部に3箇所、出入口踊場に各1箇所、設置しています。

非常時には、西淀川警察署に通報することが出来ます。



会話機能付き防犯ベル(地下広場)

2)カメラ

地下広場部に5箇所、出入口施設部に8箇所、各エレベーター内に各1箇所設置しています。



カメラ(路上)



カメラ(地下広場)

(5)情報提供モニター

画面サイズ 50 インチのモニターを 2 面設置しています。

西淀川区役所のホームページなど生活に役立つ情報も提供します。



情報端末(地下広場)



タッチパネル端末(地下広場)

(6)太陽光発電

出入り口部に太陽発電パネルを設置し、地下の照明施設の電力として利用します。発電量は、最大 2.85kw、地下広場の消費電力の約 25%を賄います。

参考

全体完成時には、最大発電量 3.05kw。

地下広場の消費電力の約 27%を賄う予定。

発電量は、太陽光パネル発電量を家庭用電力に変換したものの。



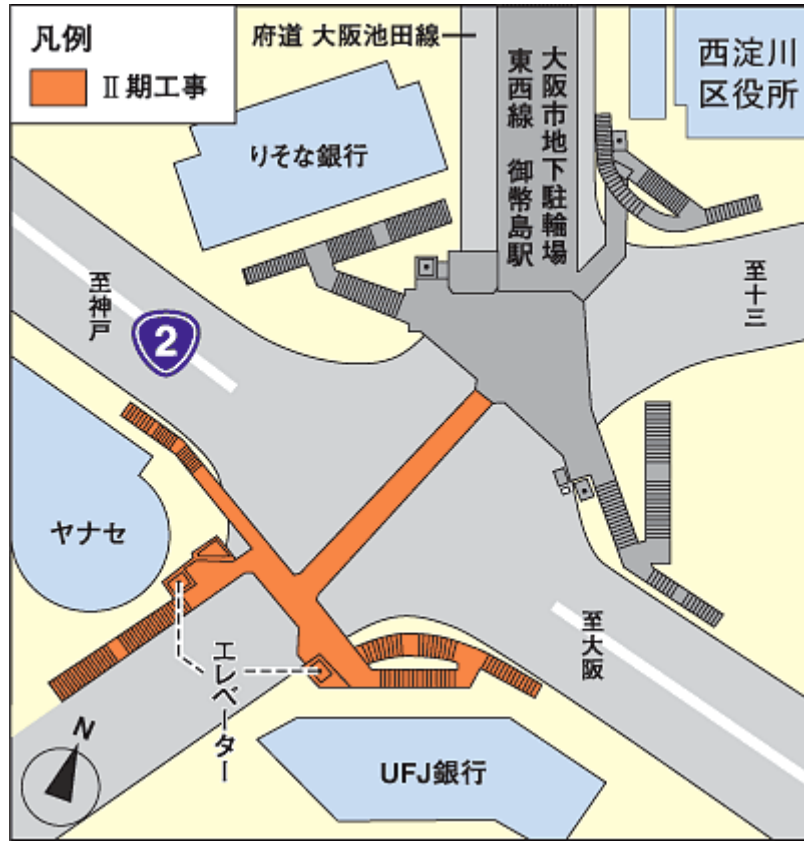
太陽光発電パネル



発電量表示

期工事について

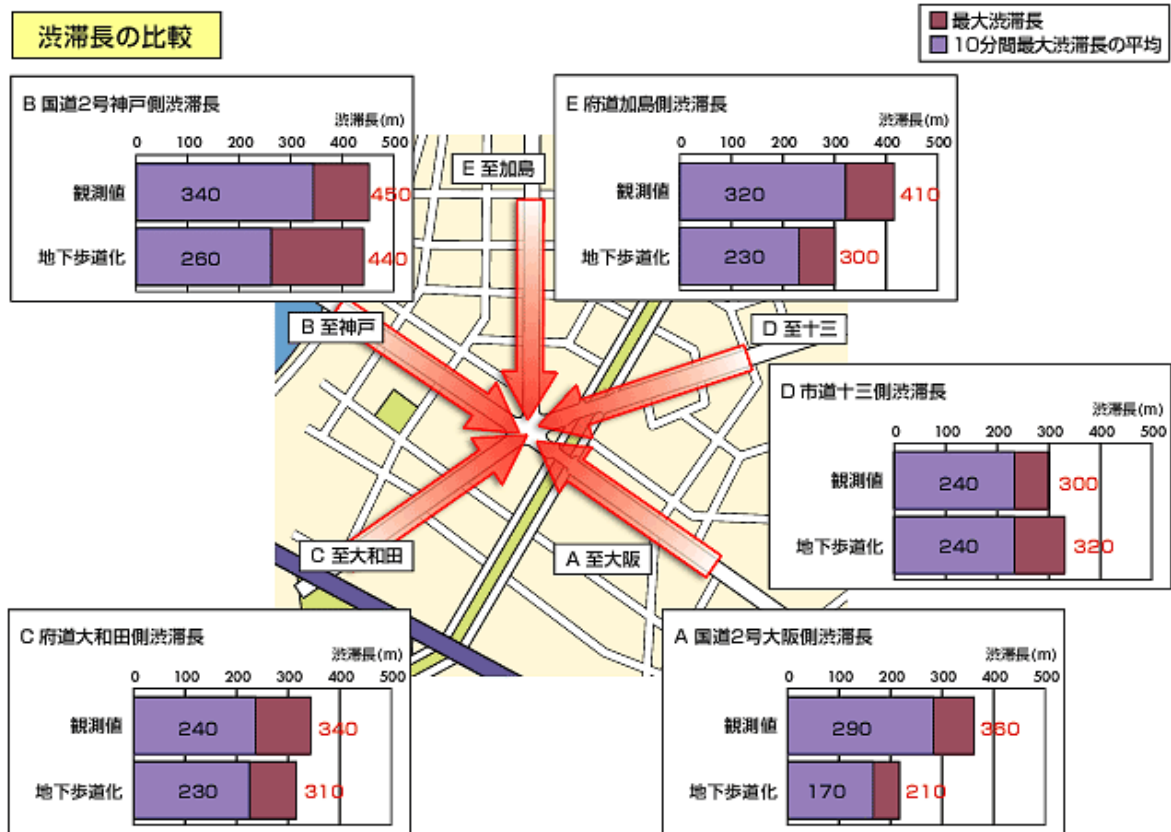
【位置図】



期工事完了後の期待される効果

[地下歩道化による渋滞長の変化について]

シミュレーションを用いて、「地下歩道化」の渋滞長を推計した。



朝7時台における10分間毎の観測値とシミュレーションによる計算結果

歩行者・自転車の地下横断歩道利用転換により、左折交通への抵抗が減少する。

各方向では、横断歩行者等の影響を受ける左折交通量の多少により、渋滞低減長が異なる。

- ・A方向は、最大渋滞長平均で120m低減。
- ・B方向は、最大渋滞長平均で80m低減。(最大渋滞長は微減)
- ・C方向は、最大渋滞長平均で10m低減。
- ・D方向は、特定時間における交通集中により、最大渋滞長平均では変化が生じない。(最大渋滞長は微増)
- ・E方向は、最大渋滞長平均で90m低減。

【地下歩道化による環境改善効果】

排出ガス(NO_x)の削減効果

主要交差点を起点とし、歌島橋交差点を通過する車両について、シミュレーションにより「現況再現時」と「地下歩道化」における走行速度の変化を推計し、自動車による排出ガス量の年間変化を推計した。

地下歩道化による排出ガス(NO _x)の年間削減効果	NO _x [単位:t]
現況再現時	22.91
地下歩道化	21.66
地下歩道化による削減量 (-)	1.25
地下歩道化による削減量率(/)	5.5%

年間排出量(平日)は、ピーク時(7時台)1時間あたりの排出ガス量 × 12時間/日 × 260日/年として算出。